

道通信

2025・1・22

No 1815



ホトギス

◆本日の練習 6時30分～ 岡野中学 小坂先生・二宮先生 全曲持参

◆1月29日の練習 6時30分～ 岡野中学音楽室 清水先生・小坂先生 全曲持参

～～ ソフィアの子守唄 ～～

天明2年(1782), 大黒屋光太夫という船頭が米を積んで江戸へ向かう途中, 駿河灘沖で遭難, アリューシャン列島のアムチトカ島(ロシア)に命ながらに漂着。飢えと寒さに苦しみながらも村人に歓待され月日の経つのも夢のうち… 3年, 4年と経つうちに望郷の念が募る。鎖国状態の日本に帰るため, サンクトペテルブルクに赴き, 時の女帝エカテリーナに謁見を求める。そこで宮廷役人の娘ソフィアに出会い恋に落ちる。家族との再会か, ソフィアとの別れか, さあ, どうする光太夫。複雑な心境の光太夫を慰めるソフィアの歌を耳コピーで日本に持ち帰ったのが日本におけるロシア歌謡第1号とされています。

56周年で歌うのは「ソフィアの歌」そのものではなく, 光太夫の軌跡を追った五木寛之が作詞・作曲した「ソフィアの子守唄」。ご存知の「コサックの子守歌」によく似たメロディが使われています。春には家族との再会を待ち望む「異国の旅人」光太夫への想いをソフィアが歌う構図ですが, 2番「異国の恋人」は二人の心情も表しているため男声の歌い出しにしました。オペラに例えるなら, 宮廷の月陰で手を携えて歌う光太夫とソフィアのデュエットの場面でしょうか。

下表のように, 女声パートソロ→デュエット→ *tutti* (テュッティ=一緒に), →男声ユニゾン→合唱→ *tutti* →コーダと進行します。主旋律(◎印)がパートを移動しますので, 意識して歌い継ぎましょう。他のパートも部分的に主旋律を歌いますから注意して楽譜を読んでください。(光太夫, ソフィアになったつもりで歌いましょう!) 石田(演出担当)

	A	A'	B	B'	A	A'	B	B'	C
S	-	◎	◎	◎	-	-	◎	◎	○
A	◎	○	○	○	-	-	○	○	◎
T	-	-	○	◎	◎	◎	○	◎	○
B	-	-	○	○	◎	○	○	○	○

56周年定期演奏会の「うたごえ担当者会議」が開かれ, 具体的に6曲が選定されました。(カチューシャ、夏は来ぬ、モスクワ郊外のタベ、若者たち、上を向いて歩こう、バラが咲いた)
近日中に楽譜を配布いたします。

会議の予定 本日 1月22日(水) 3時～ チラシ等委員会 場所 県民サポートセンター

2月5日(水) 2時30分～ 運営委員会 場所 県民サポートセンター